

オンラインにて令和4年度「全学FDの日」を開催しました

2022.09.14

去る9月14日に今年度の「全学FDの日」の企画として、「ブレンディッド・ラーニングの実践 × ルーブリックの導入
～ 学習成果の可視化を目指して～」をテーマに、FD活動を実施しました。

池田学長の挨拶、吉澤理事(学務・社会共創担当)による趣旨説明に引き続き、関西大学教育推進部岩崎千晶教授を講師に迎え、「ルーブリックを活用した学習評価」と題した講演を行いました。岩崎講師からは、「自律的な学習者の育成」を目標としたルーブリック評価の導入方法や授業設計等の事例について紹介いただくとともに、活用のポイントを説明いただきました。

その後、本学でのルーブリックの試行例として、共同教育学部の松浦佑希助教が「実技科目におけるブレンディッド・ラーニングとルーブリック評価の試行と課題」と題し、自身が担当する講義でのブレンディッド・ラーニングの実践やその課題を報告しました。共同教育学部の酒井一博教授(PLUS-DX推進チーム)は「本学におけるルーブリック試行について」と題し、複数の授業での実施事例を概観しつつ、本学での運用推進に向けた展望を述べました。

昨年度に続き新型コロナウイルス感染症の対策としてZoomによる生配信での実施となりましたが、質疑応答では「学生の自己評価と評価者の評価が似通ってしまう場合どのように評価したらよいか」、「ルーブリック評価での学習意欲の低い学生がいる場合のフォロー策」などといった、実践的な局面を意識した質問が投げかけられ、有意義な議論がなされました。



(写真) 講演する岩崎千晶関西大学教育推進部教授



(写真) 実践例の報告を行う松浦佑希助教